

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	4702	領域略称名	新海洋混合学
研究領域名	海洋混合学の創設：物質循環・気候・生態系の維持と長周期変動の解明		
領域代表者名 (所属等)	安田 一郎 (東京大学・大気海洋研究所・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域では、「海洋の鉛直混合」の観測システムを構築し、親潮・黒潮の源流域から東北沖を中心とした北太平洋・縁辺海で物理・化学・生物を併せた統合的観測を展開することで、海の混合の実態と発生機構および物質循環、気候、生態系への影響を明らかにすることを目的とした研究が精力的に行なわれた。

本研究領域は、気候変動や水産業への提言等の社会的にもインパクトのある期待通りの学術的な成果を上げた。例えば、海洋の鉛直混合を定量的な測定と乱流理論に基づく計算論によって明確にしたことや、鉛直混合という概念の生態系への実態的効果を物理・化学・生物学の協力体制の下で明らかにし、日本近海の魚類の発達動態を明確化するなど水産業へインパクトのある成果が得られたことは注目に値する。さらに、鉛直混合に対するモデルによって気候変動の原因に対しても示唆を与える成果が得られ、関連する研究分野への展開が期待される。また、研究領域としての国際活動や若手研究者育成が活発であったことも高く評価できる。今後は、研究の更なる進展とともに、研究成果の積極的なアウトリーチにも期待したい。